

# 東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

## 30周年記念誌



2013年5月25日

Handwritten marks or characters in the top left corner.





ワイズがなかったら YMCA を知らなかった  
ワイズに入らなければ こんな友人を持てなかった  
ワイズで各地に行けたから Y につらなる人がいる事を知った

ワイズで役目をおおせつかったから  
いろんなことを真剣に考えた

だから

これからもワイズでいたい  
ワイズの輪の中にいたい

太田 太

東京多摩クラブ5周年の記念誌より

**東京武蔵野ワイズメンズクラブ**

1955年4月7日 チャーター

**東京多摩ワイズメンズクラブ**

1983年3月6日 チャーター

**SEOUL HAN YANG Club (KOREA)**

1987年5月IBC締結

2000年に入り  
東京武蔵野と東京多摩の両クラブは  
合同例会を持つ



2006年9月  
**東京武蔵野多摩クラブ誕生**

**Tsim Sha Tsui (Hong Kong)**  
2010年8月IBC締結

**神戸学園都市クラブ**  
2011年5月DBC締結

東京武蔵野多摩クラブ 30周年によせて

廣田 光司 東京 YMCA 総主事

駒田 勝彦 東日本区理事

久保田 貞視 あずさ部長

Lee Kwan-hyung

The Seoul-Han Yang Club (韓国漢陽ハーニャンクラブ) 会長

Jorence Tsang

Tsim Sha Tsui Men's Club (香港) 会長

佐伯 一丸 神戸学園都市クラブ会長



## チャーター30周年おめでとうございます



東京YMCA総主事 廣田光司

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブがチャーター30周年を迎えられたことをお祝い申し上げます。東京YMCA133年の歴史の中で30年の長きにわたり活動を共にしてまいりました。そのことに感謝をすると共に30年間活動を続けてこられた尊い志に敬意を表します。

東京YMCAの歴史のなかに様々なことがあったように、武蔵野多摩クラブの30年は並大抵の歴史ではないと推察します。武蔵野多摩クラブの皆様には、特に西東京センター(武蔵野センター)の活動と共に歩んでいただいたということと認識しています。又多くの尊敬する先輩主事がいらっしゃることでも感謝をしています。

長い間、多大なる御指導・御支援を頂いたことを重ねて感謝申し上げます。

YMCAは活動を通して多くの若者を育ててきました。その後ろには常にワイズメンズクラブの皆様の優しいまなざしと励ましがありました。またワイズメンズクラブを通して多くの委員や指導者も輩出していただきました。東京YMCAのみならず全国のYMCAのリーダーシップを発揮してきたといえましょう。ワイズメンズクラブのサポートによりYMCA運動が進められてきたといっても過言ではありません。そのことにあらためて敬意を表し、今後の貴クラブの発展をお祈りいたします。

## 東京武蔵野多摩クラブ30周年おめでとうございます



東日本区理事 駒田勝彦

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブの皆様、この春の良き日に30周年をお迎えされましたこと誠におめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。また皆様もさぞお喜びのことと存じます。あずさ部のなかで共に交わりをさせて頂いてきましたので、ここにお祝いを述べさせていただく機会を大変うれしく思います。

春の花と言えば、桜 桜の中で一番親しまれ美しく咲くのはソメイヨシノです。そのソメイヨシノは、オオシマザクラ（大島桜）とエドヒガン（江戸彼岸）の交配種と言われます。それぞれの良いところを伸ばし新しい花となっています。貴クラブも幾多の困難な時を乗り越え二つのものが一つとなり新しい花としてスタートをされてきて、今日ここに記念式典を迎えられましたのは、ひとえにクラブ員皆様の強いクラブへの思いと協働によるものと拝察致します。

私たちワイズメンはYMCAへの奉仕を旨としております。またクラブとしての奉仕活動をしていますそのことを通しての交わり等により私たちは自分の人生に糧を与えられます。それが生きがいにもなります。生きがいは、自分に与えられた仕事をすることによって、社会へ間接的に役立っているという使命感ではないでしょうか。その生きがいが生じるためには、自分の将来への希望、目標を持つことではないかと思えます。

クラブもまた同様ではないでしょうか、クラブの将来への希望、目標をお互いが持ち、お互いの良いもの(多様性)を出し合い刺激(創造)しあっていくことによる新たなもの(イノベーション)へ進み支えあうことの大切さを思います。

なにとぞこれからも30年の経験を生かし、貴クラブがますますのご発展をなされることと、併せてワイズメンズクラブの発展のために全力を尽くされることを信じております。今後もクラブ員一丸となってご活躍されますようご期待申し上げます。

神様のお恵みと 皆様のご多幸、ご健康をお祈り致します。



## 祝武蔵野多摩クラブ設立30周年記念



あずさ部部长 久保田貞視

貴クラブ設立30周年にあたり、心よりお祝い申し上げます。

30年前の1983年、日本経済は自動車及び半導体生産と対米輸出が大幅に伸びて経済は発展し、日米貿易摩擦を起こしていた頃です。円ドル相場は1ドル240円でした。わが国の経済バブルが発生する3年前でもありました。

東京クラブ50周年記念事業の一環としてスポンサーとなり、東京多摩クラブは3月6日に認証状伝達式を行い、東京YMCAの拠点として唯一ワイズメンズクラブのない立川センターの支援を目的としました。仮例会は立川クラブとしていましたが、将来、八王子や南多摩へのYMCA運動を広げようと東京多摩クラブとしたようです。その後、設立当初の希望通り、東京サンライズクラブと共同スポンサークラブとなり、1994年10月に東京八王子クラブを設立しました。

その後、立川センターは国立に設立した東京YMCA医療専門学校内に、そして国立駅近くの現在の東京YMCA西東京センターに転居しました。また、東京多摩クラブは、先輩格の東京武蔵野クラブと暫く合同例会を続けていましたが両クラブは合併して、東京武蔵野多摩クラブとして現在に至っています。

メンバーは15名前後と小康状態ですが、例会での卓話は良い講師を招いており、ここ数年で、IBCとして香港のTsim Sha Tsuiクラブを加え2クラブとなり、初めてのDBCは神戸学園都市クラブと締結し、交流を積極的に行っています。例会の後の全員での居酒屋での懇親会も盛り上がりクラブの団結と会員同志のコミュニケーションを図っています。

これからも、貴クラブは、東京八王子クラブの親クラブでもあり、あずさ部内でも中核のクラブとして、あずさ部他クラブの模範となるように東京YMCA西東京センターを支え、ユースリーダーを支援し、地域での奉仕活動を活発にして益々のご発展をお祈り申し上げます。



# Y's Men International THE SEOUL-HAN YANG CLUB

The Y's Men's Club of Seoul-Han Yang, Chartered 6 May 1958.  
#515, YMCA Bldg., 9 Chongro-2Ga, Chongro-Gu, Seoul, <110-753> Korea  
+ 822/735-2395 (Phone), + 822/732-1205 (Fax), E-mail: [ykjun191@daum.net](mailto:ykjun191@daum.net)  
"NGO in Special Consultative Status with the Economic and Social Council of the United Nation"

10<sup>th</sup> March 2013

TO: Dear IBC Friends,

Mr. Naoki Yamaguchi  
Club President  
Y's Men's Club of Tokyo-Musashino-Tama  
Japan



Dear CP Naoki Yamaguchi,

I was very pleased to receive your mail of February 24, 2013 announcing celebration of the 30<sup>th</sup> anniversary of your Tokyo-Musashino-Tama Y's Men's Club on the 25<sup>th</sup> May 2013 together with kind invitation extended to us to join you for the celebration. I think we have mutually shared good ties with your esteemed club since establishment up of IBC on 16<sup>th</sup> May, 1987.

On this commemorative occasion of the 30<sup>th</sup> Anniversary of your Club, all of the Members of the Seoul-Han Yang Y's Men's Club and I have the privilege and pleasure of extending our cordial congratulations to you and the Club Members of your Tokyo-Musashino-Tama Y's Men's Club. The 30 years is a long history to grow to become a matured youth with full of energy and vitality. You must be very much proud of every accomplishment and the developments achieved up to now. We hope that you and our club are will continuously communicate and exchange the each mutual interested programs.

Please accept our very best wishes for your continued success in operation and development in the next years to come so as to reach at the glorious 100<sup>th</sup> Anniversary in due course.

Y'sly and cordially,  
Lee Kwan-hyung  
Club President  
Seoul-Han Yang Y's Men's Club  
Korea

親愛なる山口会長

2013年5月25日貴クラブの30周年記念総会および当クラブへの招待のご連絡を頂き感謝しております。  
貴クラブとは1987年5月16日IBC設立以来親しい関係を維持してきました。

貴クラブの記念すべき30周年について、全Seoul-Han Yangクラブのメンバー一同心より貴クラブの方々に  
お喜びを申し上げます。30年は大変長い期間であり、この間に多くのことを達成されたものと思います。  
今後も両クラブで相互に興味深い事柄に付き意見交換したいと思います。

来るべき100周年に向け更なる向上と発展を心よりお祈りします。

Lee Kwan-hyung  
Seoul-Han Yang Y's Men's Club 会長



尖沙咀(國際)聯青社  
Y's Men's Club of Tsim Sha Tsui  
(Chartered 1981)

Dear Club President Naoki Yamaguchi,

The members of the Y's Men's Club of Tsim Sha Tsui join me in extending sincere congratulations to the Tokyo Musashino-Tama Y's Men's Club on its 30<sup>th</sup> year.

Time flies, we have been the International Brother Club for two years since the signing ceremony held in the International Convention 2010 in Yokohama, Japan. During that visit, I felt the passion and team spirit of TMT members and all these made us an unforgettable trip. In March 2011, some of the TMT members flew to Hong Kong to celebrate our Club 30<sup>th</sup> Anniversary for showing their support in action. Unfortunately, the serious earthquake followed. At that hard moment, we communicated more often and seek for any work that we can do for the relief and recovery. We, the TMT and TST members, not only exchange the idea of the social services programme, but also join hands to work it out. In order to maintain this closer bond, it is strongly hoped that we exchange our news quarterly by the bulletin and meet each other in every Asia Area Convention in the future.

I wish your club further development and prosperity and your club members and their families good health and happiness.



Y'sly sincerely,

Jorenice TSANG  
Club President  
Y's Men's Club of Tsim Sha Tsui  
Hong Kong District. Southeast Asia Region. Asia Area

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ会長 山口直樹殿

TsimShaTsui クラブ員一同東京武蔵の多摩ワイズメンズクラブ創立30周年を心より  
お祝い申し上げます。

早いもので2010年の横浜国際大会の際のBSクラブ調印式からもう2年もたちました。  
この訪問を通して、武蔵野多摩クラブの情熱と熱意とを感じたことは、私たちにとり忘れ  
がたいものとなっております。

2011年3月には貴クラブのメンバーが私どもの創立30周年に香港を訪問いただきました。  
不幸にも東日本大震災が発生、私どもとして復興のため役に立つようと努めました。  
私たちTMTとTSTのメンバーは単に社会奉仕活動の情報交換のみでなく実際に共同して行  
動しましょう。

この連帯感維持のため、ブリテンを定期的に交換し今後のアジア大会で会合を持つことを  
強く期待します。

貴クラブの更なる発展と活躍、貴クラブ員ならびにそのご家族の健康と幸せを  
お祈り致します。

Jorence Tsang  
Club President  
Y's Men's Club of Tsim Sha Tsui  
Hong Kong District. Southeast Asia Region. Asia

## 創立30周年おめでとうございます



神戸学園都市クラブ  
会長 佐伯一丸

東京武蔵野多摩クラブの皆様、創立30周年を迎えられたこと、心からお喜び申し上げます。  
ボランティアグループとして30年継続してこられたということは、短いようでも結構長く、もうりっぱな大人のクラブです。しかし、これまでにいろいろなご苦勞があったこととは想像しております。

わが神戸学園都市クラブは、創立19年の若造です。それでも台湾の高雄ポートクラブと2004年1月にIBCを結びましたが、未だDBCを結んでいるクラブが無く、探しているところに、東京八王子クラブの久保田清ワイズから貴クラブの紹介を頂きました。双方の事前の訪問の結果、意気投合し、2011年5月に名古屋のYMCA会館で無事にDBC締結の運びになりました。

これまでの相互訪問・交流の経過の概要は次の通りです。

- (1) 2011年2月9日にわがクラブ会長の森夫妻が貴クラブの例会を訪問し、DBCの打診をいたしました。この時には、仲人役の東京八王子クラブの久保田清ワイズも同席していただきました。  
例会終了後は、近くの居酒屋で2次会を開いていただき、親睦を深めました。
- (2) 2011年3月17日に貴クラブの清水彰直副会長がわがクラブの例会に出席され、貴クラブについて紹介して下さいました。そしてわがクラブの様子を感じ取っていただきました。例会後は、近くの居酒屋で2次会を開き、親睦を深めました。
- (3) 2011年5月22日名古屋にて、交流事業主任（当時、名古屋ク）平野実郎ワイズ あずさ部部长（当時、東京サンライズク）小山憲彦ワイズ、あずさ部国際・交流主査石丸ワイズ（貴ク）、六甲部交流主査（当時、神戸ク）大塚章信ワイズの立会いのもと、めでたくDBC締結式を行いました。その後、席を変えて食事会を行いました。  
貴クラブから、林会長、清水副会長、松田次期会長、石丸由理交流主査、山口ブリテン委員、伊佐TOF委員、宮内アジア地域会計が参加。  
わがクラブからは、森会長、杉本副会長、阪本書記、佐伯ブリテン委員、宗利メネットが参加。
- (4) 2011年12月10日、わがクラブと西神戸YMCAの合同クリスマス会に、貴クラブより、松田会長、宮内ワイズ、山口ワイズの3名がご参加下さいました。  
このクリスマス会には、貴クラブの3名を始めとして、ユースリーダー、YMCA職員・関係者、ワイズなど合計48名が参加しました。  
DBC締結後の初めての交流会でもあったため、大変盛り上がりました。  
当時、神戸はルミナリエの開催中で、普通のホテルの予約が取れず、カプセルホテルになってしまったこと、深くお詫びいたします。  
翌日は神戸市内の観光スポットをご案内させていただきました。

(5) 2012年5月19日(土) わがクラブの杉本会長と阪本六甲部書記が貴クラブの笠利さん宅訪問。貴クラブから松田会長、笠利さん御夫妻と3人の娘さん、宮内さんご夫妻、石丸さん、山口さん、伊佐さん、小坂さんがご参加。

金管楽器の生演奏によるワイズソングの斉唱から始まり、手料理に舌鼓を打ちつつのとても和やかな交流会になりました。

貴クラブの活動をブリテンから拝見いたしますとクラブの会員数に比して、多彩な活動をされているのに驚いています。

まず目に付くのが、東日本大震災支援活動です。その中の一つが南三陸町の名足小学校への楽器の寄贈です。名足小鼓笛隊パレードの様子が写真付きで、ブリテンに掲載されました。子どもたちは、大地震と津波の被害に打ちひしがれていたところへ、楽器まで流されて、何をしたら良いのか、気持ちが落ち込んでいたことだろうと思われます。そこへ大好きな楽器が届き、練習するたびに、気持ちが晴れて、元気が湧いてきたのでないかと想像しています。

次に目に付くのが、ボランティアリーダーとの交流です。西東京コミュニティーセンターに200名のボランティアリーダーがいることもお驚きですが、交流が深いため、ワイズと名前を知りあう間柄であることも驚きです。懇親会はきつと賑やかで、楽しい会になり、それがまた次の活動に繋がっているのだらうと思ひます。

「くにたちさくらフェスティバル」もリーダーたちと協働して、「木のペンダント作り」や「塗り絵」などで子ども達と向き合って活動されているよし。長野県原村での合同「原村例会」は松本クラブ、あずさ部部長、ワイズ以外の「こひつじ幼稚園の先生方」も参加されるという異色の合同例会で、場所と環境を変えてのとても楽しい羨ましい例会に思ひました。

今後ともお互いに無理のない地道な交流を続けていきましょう。そしてYMCAと協働して、ワイズの発展に寄与できれば、これほど嬉しいことはありません。

文庫版

上妻 英夫 東京山手クラブ 東京多摩クラブ生みの親

伊藤 弥栄子 黄色のプリテン 影の編集者

中村 勝子 元東京武蔵野クラブメンバー

小坂 良子 故小坂恵兒 東京武蔵野多摩クラブメネット

山田 公平 Hong Kong Tsim Sha Tsui Club 元東京武蔵野多摩クラブメンバー

宗行 孝之介 元東京武蔵野多摩クラブメンバー





**キーワード1 《30》 30才の時の私は・・・**

東京ワイズに藤田実兄に誘われ1961年5月入会しました。キリスト教にはまったく無縁であった者だが、只郷里山形で世界史の学習中キリストの話の中で、『人が右の頬を打つなら、左の頬をも向けてやれ』と聞いたとき、変わった宗教もある物だと思いましたね。坂村会長から入会式辞など全く分からなかったのに、英語のワイズソングには驚きと不安が錯綜した。幸い熱心なクリスチャンが大勢の中で、田中真雄兄始め多くの方々は、ワイズは抹香臭いクラブではいけない、只奉仕のみと言われたから今まで続いて居たのかもしれない。例会にはネクタイ着用（8月無礼講）バッチ付忘れ、遅刻者にはドライバーが回る、全く別世界の様な気がしましたが、毎回例会出席している中に、共通の話題に入れるように成りました。そして1962年2月東京クラブ30周年記念祝会陰として記念写真の最後列に列する事が出来ました。

**キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは・・・、**

なかなか難しい質問です。リーダーの皆さん方はワイズメンズクラブに付いて知らない方が多いかと思う、小生もリーダーの事はYMCA主事さんから聞く位です（山手ワイズ）何時の時代でも若い人々との年齢差が大きいとなかなか意志の疎通が出来ない、それだけにお手伝い方法も限られてくる、できればリーダーから色々のプログラムについて積極的に活動状況など提供されれば、『ワイズメンズクラブ』の方も、協力・支援の方法を考えられるでしょう、リーダーとの親近感・共通の話題が高まることにより、ワイズの活性化にも好影響に成ると思います。

**キーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は、**

50周年もかかわっていると一つ一つが思い出となる。特にクラブ造りには千葉・埼玉の委員長、それに‘79～‘80～‘81と2期RSD・EMC関わりました。東京多摩クラブ設立では、‘81年6月でRSDも終わりやれやれと思って居るとき、5月に次期北東部長さんが大病の為、スポンサークラブの東京クラブが引き受けてくれと言われ、クラブ会長経験者議論の末、小生が指名され渋々引受けた。当時立川YMCAが活動始めた頃で、立川ワイズ設立が、東京クラブが取上げられ、新米武将として関わるようになりました。最後には小生も立川クラブに移籍し、名称も東京多摩クラブとして‘83年チャーターした次第です。

又、ワイズに入った為、海外旅行です。31ヶ国訪ね、時には一ヶ月以上の旅、時々失敗も今では楽しい思い出と成っています。韓国地区大会にはIBC交流の為‘74～‘87（‘83・‘86不参加）12年連続訪問しました。

**キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしている**

此の年齢に成ると、色々な方々からの、お支えを頂いてきました、商いの傍ら前述の様にワイズの関わりが家族まで影響を与えたようです、其れをどのようにして応えられるかなかなか名案が浮かびません。只、此れまで頂いた友情に感謝して居り、今後も続けたいと思います

## キーワード1 《30》 30才の時の私は・・・

30才の時の私は、雪国新潟から東京転勤となった夫と共に、新潟での職を辞し上京しました。新潟では、国家公務員として労働基準局に勤務していました。当時役所での仕事は、各種技能者試験の問題などを、筆耕して謄写印刷する様な事をしていました。

東京で落ち着いたニュータウンの団地では、もともと好きだった筆耕で、地元の自治会ニュースや、近隣の小学校にPTA関係の印刷をしていました。

このような様子を知っていた隣家の東京多摩クラブ、元五十嵐 滋様から、ブリテンの仕事をしてほしいと声を掛けられたのがご縁で、以来仕事として印刷を請け負わせて戴きました。

長い間、本当に有り難うございました。

キーワード1 《30》 30才の時の私は・・・・

武蔵野ワイズメンズクラブに入会した年齢です。  
なんとwise「ワイズ」の方々の集まりなんだろうと、目をみはりました。

キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは・・・・

ご活躍に頭が下がります。  
より、いそうのご活躍を願致します。

キーワードキーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は・・・・

ワイワイ ガクガク、意見や話のやりとりを交わす毎月の例会を今でも思い出しています。

キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしている・・・・

ことば。 「われ以外 みな師なり」を大切にかみしめています。

## キーワード1 《30》 30才の時の私は、.....

今から50年前の事で、夫の両親、4人の子供育児で(8人家族)目まぐるしい日々でした。義父が日曜は聖書集会を持っており某所でも人の出入りが多い日々でした。そんななかにも。慰めあり、励ましあり、泣き笑いありで、なつかしい思い出が読み返ってきます。「若い時の苦労は、買ってでもしろ」との格言がありますが、神様のお支えを頂いて来た事、有難く思います。

## キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは.....

サンテグジュペリの「星の王子さま」の言葉に、大切なものは目に見えない事と書いています。目に見えるものに頼るのではなく、見えない愛や、善や、真実、そして大切な事は神様に向かうしせいではないでしょうか。未来に向かって希望と夢を持って進んで下さい。

## キーワードキーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は、.....

1991年、まだ、こひつじ幼稚園が開園していない時に、第1回目の夏の集会を思い出します、蓼科での野外バーベキュー、飯盒でご飯を炊き、山鱒を焚火で焼き、舌つづみ打ちキャンプソングを合唱し、楽しい一日でした。又1994年、入笠山へ登山しました。青空のもと、済み渡った頂上から見たパノラマの山の崇高な眺望、目に焼き付いています。この頃は、会員皆体力も十分で若かった事です。

## キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしている.....

朝 今日一日神様のお守りを頂き、感謝の気持ちで一日を過ごさせていただきます  
様々に祈ります  
夜 今日一日無事にお守り頂き、み手の内に過ごさせていただきました事に  
感謝の祈りをいたします

毎日30分程自己流の自彊術をして、身体をほぐし玄米を7搗きにして頂いています

## キーワード1 《30》 30才の時の私は・・・・

30歳の時？ 思い返せば、一番変化の大きいときであったように思います。アメリカから帰って、迷いながらもYMCAに就職、一年目でした。結婚すべきか、日本で安住すべきかなど迷い、教会にも行き始め、毎週勉強会に参加、結局洗礼を受けたのが32歳、結婚も32歳であったような記憶があります。人生の大きなことをこの時期に決めていたのだなと思います。

## キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは・・・・

私がとちぎYMCAにいた頃（1984-95）、多くの学生リーダーたちと日々をともにして、キャンプをやったり、一緒に飲みに行ったり、悩みや喜びも分かち合ったという感じでした。その頃、ふと思ったのは、彼らはボランティアをしていると言う感覚ではなく、自分達のやりたいことをYMCAという枠の中で作っているのだなと感じたことがあります。彼らがやりたいことをするのに仲間を集める。友達や新入生を連れてきて、一杯やりながらYMCAの面白さを伝える。納得の行くキャンプをみんなで作り上げる喜び、子ども達のかわいさ、経験しているうちに身に付く自信、卒業後もそんな体験が大きな財産になっているのではと思います。

## キーワードキーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は・・・・

1984年、とちぎYMCAに転勤になりました。1歳の長女を連れ、外国人の妻と何もわからない宇都宮に行きました。そんな時、一番頼りになったのがワイズとその奥さん達〔メネット〕でした。ワイズと言うのはすごい仲間が一度に沢山できるところだどつくづく感じ、感謝しました。だからワイズの輪は大事。自分にとってというより、仲間の中にはこういう不安や悩みの中にいる人もいて、そんな時、ワイズの交流、仲間の大切さを感じるものだと思います。今でも香港にいて、ワイズに入り、こうして日本のワイズの仲間と交流できることは、うれしいことです。帰る場があるという感じ。

## キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしている・・・・

大切にしているものは、柔道。何よりもやり続けること。柔道仲間は30, 40代で怪我をするからとか、時間がないからとやめてしまいました。当時は確かに月に一回やるのも大変でした。そうすると体ができていないので、怪我をして、3ヶ月休み、そうしているうちにやらない生活習慣になってしまいます。やり続けることが一番。今でも、香港で道場を見つけ、週に一回は稽古を続けています。心と体の健康にはこれが一番！！  
ビールもうまい！！

## キーワード1 《30》 30才の時の私は・・・

30才の時の私は、神戸YMCAで野外活動、少年活動一筋でちょうど幼稚園併設のランチ勤務でした。まだまだ尖っていたかもしれません。幼稚園の子どもたちとの4年間は忘れがたい思い出です。個人的にはまだ独身、一人暮らしで気儘放題でした。

## キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは・・・

拝金主義、効率主義がはびこる現代社会で、本当に大切なもの、価値あるものを仲間たち、子どもたちと探して行って欲しいということです。  
その過程できっと神様に会おうはずですよ。

## キーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は・・・

あまり出席率は良いほうではなかったですが、いつお伺いしても暖かく迎えてくださったことが一番の思い出です。  
また、同盟勤務でしたので現場の香りが漂う西東京YMCA会館に寄せていただくのが大きな喜びでした。

## キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしていることは・・・

メンバー > リーダー > スタッフ > じぶん これに尽きます

西東京 YMCA

井口 真 前西東京 YMCA 主任主事

江尻 明子 元東京武蔵野多摩クラブ担当主事

中元 美佳 西東京 YMCA 職員





**キーワード1 《30》 30才の時の私は・・・**

父も同じことを書いたかもしれませんが、長男が誕生しました。

父が30の時に僕が生まれ、僕が30の時に長男が生まれました。

だから、父と長男は60歳違い。寅年に孫が出来る！とって喜んで、父は僕に虎の模様のネクタイを贈ってくれました。僕はまだ、京都にいて、一人で野外活動チームを11個担当していました。上司に2チームお願いし、OBに引率を頼むチームが5個。僕が4個。毎週野外活動。リーダー会が毎週火曜日。全体リーダー会が毎週木曜日、毎週水曜日には各チームのチーフリーダーを集めたチーフリーダー会を開催していました。さらにワイズが第一例会と第二例会がホテルであり、Yサ委員会がある。まあ、今も特に変わりませんが、走り続ける30歳でしたねえ。

**キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは・・・**

YMCAの働きというのは、「痛みを分かって行動に移す」ということだ、ということです。そして自分自身がYMCAであることができます。YMCAとは生き方です。YMCAには会員の制度がありますし、スタッフがいますが、スタッフがYMCAなのではなく、会員がYMCAなのですね。だから、YMCAが褒められればそれは会員が褒められたことだし、YMCAに足りないことがあれば、それは会員のすべてに足りないところがあるということなのだと思えます。受け止めなければならないのです。リーダーも同じです。YMCAに深くかかわった者には何年たってもYMCAの刻印が残ります。YMCAとはつまり、決して人任せにしないとということなのだと思えます。生き方ですから他人が自分の人生を生きるはずはないのです。リーダーの皆さんも、あなたがYMCAの主体ですから、当然会員になってもらいたいと思っています。

**キーワードキーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は・・・**

意外に何気ないことが残っています。大きなイベントの思い出は、それはそれなのですが、僕は日常のちょっとしたことに意味を見出すタイプですし、そういうことが大切なように感じてしまいます。

たとえば、伊佐さんがファミリークリスマスで丁寧な心温まるお祈りをしてくださったことや、松田さんが2011年度のリーダー報告感謝会で、僕はこういう交流をしたかったんで、夢がかなっちゃったなどと言ってくくださったこと。太田太さんが鉛筆をなめながら教室使用料を支払いますよと、少年のような輝く目で笑いかけてくださったこと。

例会で卓話させていただいたことや、ファミリーフェスティバルやクリスマスでトーンチャイムに混ぜてもらったことなど、思い出は尽きません。

**キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしているのは・・・**

YMCAのスタッフであることの誇りです。YMCAの主事は創始者ジョージ・ウィリアムズの墓碑銘に書かれた「私は唯一の尊い財産であるYMCAを残していく。これを広め発展させていただきたい」という言葉を、タスキリレーのように引き継いでいます。

バトンを受け取った人はどうしますか？全力で走るじゃないですか。箱根駅伝で、時に見られるのは、繰り上げスタートになってしまうと、仲間の汗が沁み込んだタスキではなく、仮のタスキになってしまう。それを避けるために、フラフラになりながら、必死に走り、タスキを渡して倒れ込むじゃないですか。同じことです。受け取ったバトンを大事に握りしめて全力で走るのです。次の人にバトンを渡す、その時まで。

## キーワード1 《30》 30才の時の私は・・・・

「走りっぱなし」そんな感じでした。異動もあって仕事内容も変わったこともありましたが、忙しくても「情熱を持って取り組める」仕事をできていたこと、打ち込める「趣味」とその趣味を共に楽しめる仲間がいることのありがたさを知ることのできた10年だった気がしています。

## キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは・・・・

「今だからできること」「今しかできないこと」があります。諦めてしまうことは、簡単ですが、自分の可能性や限界は自分で作ってしまうもの、大きく広げていけるのも自分次第です。

## キーワードキーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は・・・・

武蔵野多摩ワイズの思い出は、やはりトーンチャイムです。  
クリスマス会に向けて、「ガチャガチャバンドだ」と皆で笑いながら、例会で練習したことです。

## キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしている・・・・

「人を育てる」「想いを育てる」そんな仕事がしたいと思いながら、今でもYMCAで働いています。他団体もたくさんキャンプをやっていますが、「自然体験」だけでなく、「育てる」という視点は、やはりYMCAのキャンプや活動ならではのと思っています。

**キーワード1 《30》 30才の時の私は・・・**

おおらかでありたい、というのが希望像！！

私は今、29才です。9月が誕生日なので数ヶ月後に30才を迎えることになり、このキーワードはとてもおもしろいな、自分について考えるいい機会だな、と思って書いています。

30才って大人だな、どうなっていたいかな、と考えていたら、「おおらか」という言葉が出てきました。改めて辞書で引いてみると「心がゆったりとしているさま」とありました。心を、気持ちを、いつもゆったりとさせて、人と、物事と、かかわっていけたらすてきだなんて思います。

果たして数ヶ月でおおらかさを手に入れることはできるのか、といたら険しい道のりですが、一歩ずつ、少しずつ。「まずは受けとめてみる」ところから意識してみようっと。

**キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは・・・**

たくさんのお会いがあること

一所懸命にやったことはそれだけ自分にかえってくること

自分と向き合おうとすること

悔しくて泣けるほどがんばれること・・・

たくさんのことが、YMCAで築ける、得られる、思える、感じられる、ということ。

YMCAでの色々な「こと」が糧となって、自分を創っています。きっと、リーダーたちはすでに、色々築いて、得て、思っ、感じているんだろうな。

それを、大切に育てていってほしいなと思います。

**キーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は・・・**

大学4年生の時の西東京ファミリーフェスティバルです。

キャンプファイヤーでエールマスター（進行役）をさせていただきました。

終わったあとに「楽しかったよ。」とたくさん声をかけていただき、とてもうれしかったのと同時に、自信にもなりました。これがきっかけで名前を覚えていただいたり、その後も「あのときは・・・」と度々声をかけていただいたりして、うれしいな、よかったな、ということで一番の思い出です。

その他にも、リーダーのときには例会やリーダー感謝会で東日本フォーラムやキャンプなどの感想を発表する機会を何度かいただき、その度にあたたかい声をかけてくださったこと、職員になってからは、ファミリークリスマスでトーンチャイムに参加させていただいたことなど、楽しい思い出がたくさんあります。

**キーワード4 《ズ》 ズーっと大切にしている・・・**

「迷ったときは、大変そうな道を選ぶ」という考え方。

ズーっと大切にしているというのが適切かどうか、ちょっと迷うところもありますが、考えて出てきたのがこれでした。

どうしようかな、と思ったときは、やりたい気持ちが含まれていて、そういうときは

「大変」の先に「やってよかった」が待っている。そういうことが見えてきて、

迷ったときにはがんばる方を選ぶようにしています。

そうして選んできたことは自分に積もっていて、今の自分があります。



東京武蔵野多摩クラブメンバー

井口 延  
伊佐節子  
石丸由理  
太田 太  
笠利和彦  
清水彰直  
鳩山徹郎  
松田 啓  
宮内友弥  
山口直樹  
山本 宏  
河本晶介  
竹中 萌  
(名簿順)



## キーワード1 《30》 30才の時の私は.....

YMCAの主事認証を受け、東京YMCAのスタッフとして山手ランチに勤務して  
いました。山手ワイズメンズクラブのメンバーでもあり楽しい毎日。  
長男「真」が生まれた年でもあります。

## キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは.....

今、この時代、日本だけではなく世界中が大きな課題を抱えています。  
その最たるもの の一つは原子力発電の問題ではないでしょうか。  
これからの時代を大きな夢をもって生きてゆけるような社会を築くために  
努力を惜しまない仲間を育てることに協力をしていただきたいと思います。

## キーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は.....

私たちのクラブが毎年行っていることですが、ボランティアリーダーの慰労を  
兼ねた楽しい懇親会。これからも続けて行きたい活動の一つです。

## キーワード4 《ズ》 ズー と大切にしている.....

人生は「出会い」と言いますが、まさにその通りですね。いつも自己中心で、  
欠けの多い者同士ですがこれからもお互いに協力し、補いあっていきたいと願います。  
ワイズで出会った貴重な人をこれからもズーと大切にしたい。

キーワード1 《30》 30才の時の私は・・・・

3人の子どもの子育て真っ最中  
3人目が生まれてまもなくの時期で、先天性の心疾患が判り、心細い、  
せわしい日々を送っていました。

キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは・・・・

不思議な縁で結ばれた仲間だと思います。  
一つ一つ展開される働きの中から、自己と他者の共存のあり方を体験できると思います。  
この体験は、今後の自分の生き方の幅を広げる貴重な働きになると思います。

キーワードキーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は・・・・

京都での国際大会  
ハーニャンクラブとの富士山登山（朝8時出発ーお昼過ぎに5合目に到着・大渋滞）  
定例会を箱根強羅で実施。 翌日、各自が強羅からの出勤

キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしている・・・・

「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の言葉（言うは易く行うは難し）



キーワード1 《30》 30才の時の私は・・・・

午前中は、TBS の幼児番組、午後はユリ・リトミック教室のレッスン、夕方からは、体操床運動のピアノの伴奏や、NHK 教育番組・学校放送「ワンツーどん！」の打ち合わせと色々な仕事を掛け持ちしていて、一番忙しかった時です  
そんな時にお目に掛かり、育てて下さった皆さんは、今でも心から感謝しています

キーワード2 《ワ》 YMCA のリーダーたちに伝えたいことは・・・・

こどもでも大人でも、人とのかかわりは財産になります  
色々な立場の色々な考え方を学んで、自分を大きく育てる力にしてください

キーワードキーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は・・・・

今まで知らなかった色々なジャンルの方にお目に書かれた事！  
特に、横浜国際大会では色々な経験をさせて頂き、感謝しております

キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしている・・・・

その時出来る事にチャレンジすること  
専門が音楽なので、音を使って色々なコミュニケーションの手段に出来たらいいなと思っています

## キーワード1 《30》 30才の時の私は.....

私のボスはライオンズクラブでもりもり活躍していました。  
私は心情からも教会伝道の教材作り等の仕事柄からもY' Sに進みました。  
そしてリタイヤしたら自分の大部分の時間をY' に使おうときめました。

## キーワード2 《ワ》 YMCA のリーダーたちに伝えたいことは.....

みなさんは選ばれた人材達です。願っても叶わない喜びの世界を体験しています。  
そして無くてはならない社会人に育ってください。

## キーワードキーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は.....

西東京センターで私のやっていた朗読教室のメンバーがこぞってYMCAの  
会員になってくださったこと、夢にさえできなかった出来事です。  
そして私は今難病に苦しんでいますがこれにも大きな意味を感じています。

## キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしている.....

私はひとつの重要なポイントに立つと、常にそれを開け渡す人選から仕事を始めました。  
しかし現代は譲られるのではなく自ら耕し育て上げ、役に立てる時代です。  
そして自分と戦う事が必須の時代かもしれません。

キーワード1 《30》 30才の時の私は.....

スイスのフライブルグ大学を卒業し、(学外では夏学期にビール学、冬学期にワイン学を専攻)日本にもどり、父が園長をしていた幼稚園に教育主事として就任していた。メモをドイツ語で書いたり、車は時々右側通行になるなど、しばらくは変な日本人だったと思う。当時飼っていたセントバーナードがビール好きで、よく一緒に飲んだものだ。

キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは.....

Enjoy your Ylife.

キーワードキーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は.....

山田公平ワイズの仲介で、設立を援助したフィリピンYMCAの幼稚園のオープニングに2010年8月、参列した折、当地のワイズメンと交流ができたこと。特に当時のフィリピン理事、Mrs. Trinidadさんとは親しくしていただいた。彼女が参加できなかった横浜国際大会のブローチをプレゼントしたところ、大喜びで、つけていたブローチと即交換していた。今年3月末に再会の予定。

キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしている.....

結婚祝いに父がくれた新旧口語訳聖書。ラテン語で詩編119編105節と  
しるされている。

「あなたの御言葉はわが足のともしび、わが道の光です」

## キーワード1 《30》 30才の時の私は.....

30才の時私は米国にいました。私は1964年(昭和39年)に30才になりましたが、前年の12月からその年の12月まで米国ニューヨーク州ロングアイランドにあるブルックヘブン国立研究所に留学していました。留学の費用は月300ドルで、これは会社が負担してくれました。当時、1ドルは360円だったので、留学の費用は当時の会社での給料の10倍以上になりました。その当時の米国の物価は安く、ステーキは安いレストランで1ドル未満、缶ビールは6本で1ドル未満でした。この留学で、私は「YesとNo」をはっきり云うことを学びました。

## キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは.....

YMCAのリーダーたちに伝えたいことは、「継続は力なり」と云うことです。但し、継続には同じことを繰り返すだけではなく、様々な困難に対応し、解決することが必要です。私は絵画について素人ですが、片岡珠子の絵が大好きです。片岡珠子は、若い頃何度も「日本美術院展」を落選し、「落選の神様」と呼ばれたこともありました。また、型破りの構成や大胆の色使いは一部の人より「ゲテモノ」と揶揄されました。しかし、珠子は従来の日本画の概念を揺るがすような力強い表現を確立、103才で亡くなるまで現役を続けました。「面構(つらがまえ)」や「富士山シリーズ」が有名です。

## キーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は.....

今までのワイズでの一番の思い出は、クラブ(当時は東京多摩クラブ)のブリテンが優秀賞を受賞したことです。1986年の日本区大会でのことです。当時、東京多摩クラブのブリテンは手書きで、カラー印刷をした他のクラブのブリテンに較べ見映えが良くありませんでした。私が会長の時(1985-1986年)ブリテンの発送は会長の役目でしたが、発送先宛名シールが高く(確か一式6000円)貧乏なクラブでは買う気になれませんでした。幸いワープロを個人的に所有していたので、毎月宛名をワープロで印刷し、それをのりで貼り付けました。当時、日本区書記の住所が期の途中で変わりましたが、毎月宛名シールを自作しているので住所の変更には容易に対応できました。ブリテンの受賞理由は「毎月確実に届けられた」とのことでした。私にとって、予想もしない受賞でしたが、ワイズには人の密かな苦勞をちゃんと見ている人がいることを知り、感激しました。

## キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしている.....

ズーと大切にしていることは、「事実と予想を区別すること」です。社会では、「事実と予想の区別」が明確な事例として、①スポーツ、及び②司法制度が挙げられます。スポーツでは、予想は個人の自由ですが、予想と「競技の結果である事実」とは明確に区別しています。また、現在の司法制度に基づくと、人は犯罪を実行したという事実がなければ、罰せられることはありません。将来犯罪を犯す可能性があるという予想は個人の自由ですが、予想と事実を混同してはなりません。「無実の者を罰しない」ことが司法の原則です。現在、日本の政治では「事実と予想の混同」が問題です。その原因の一つに、マスコミの一部で「事実と予想の混同」が平然と行われていることが挙げられます。自然現象を対象とする「自然科学」においても、事実と予想の区別が基本原則の一つです。

## キーワード1 《30》 30才の時の私は.....

30歳になったとき、「20代は、大学で学んだり、ボランティア活動に明け暮れたり、就職をして異動もありながら様々な仕事をして、変化の多かった10年だったなあ」と思ったものです。変化が多かったということは、その分、成長の機会に恵まれたということ。30代もそんな10年になればいいなと思いました。30歳になってから3年ほど。20代のころと同じぐらい刺激的な毎日です。周りの人々に感謝。

## キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは.....

様々な縁があって、YMCAのリーダーをやれていることは本当に幸運なこと。ひいき目なしに、YMCAでの経験はその後の人生においてとても大きい影響を及ぼしますね。人としての価値観も、友人関係も。ここにいる幸運を噛みしめ、限りある時間を大切に過ごしてほしい。そして人として大きくて、自分らしい自分になってほしいと願っています。願わくは、いつも言っていますが、人の喜びが自分の喜びになる、人の悲しみが自分の悲しみになる、人の成長を喜べるような、そんな人間的な人になってほしいと願っています。

## キーワードキーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は.....

やはり、初めてワイズに入ったとき（ワイズの担当主事をさせていただくことになったとき）でしょうか。当時、入職2年目であり、まだわからないことだらけでありましたが、かわいがっていただいて、色んな繋がりを作ってくることが出来ました。二年ほど、担当いたしましたクラブも、異動のため担当を外れてしまいましたが、職場が「高尾の森わくわくビレッジ」に移ったあとも、度々お越しいたできて声をかけていただきました。4年ぶりに東京に戻ってきたときも、「おかえり」と何人ものワイズに声をかけていただきました。いつも優しく、「おー！」とか「よっ！」とかと声をかけていただけるのが本当に嬉しいです。日々、思い出が出来ていきます。これからもよろしく願いいたします。

## キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしている.....

自分を含め、「誰しものが充実した毎日が過ごせたらいいのになあ」と漠然と思っています。自分が関わっている子どもたち、障がいを持つ方々、リーダーたち。YMCA職員、ワイズメンズクラブの方々、会員の方々。本当はもっと広く、日本に住む子どもたち、世界の子どもたちと言いたいところですが、力及びません.....。でも、そんなことを日々考えながら仕事をしています。私たちの専門は教育ですから、教育の分野から少しでも、周りの人たちから、充実した生活のサポートが出来ればなと思っています。皆様と力を合わせて、実現していきたいと思っています。

## キーワード1 《30》 30才の時の私は・・・・

目からウロコ、耳から・・・・？

音声ミキサーとして良い音を求めて悪戦苦闘していました。当時はブルーコーツ・#&b・東京キューバン等々ビッグバンド花ざかり、その草分けニューハードの響きは、スタジオを飽和させていました。セパレート録音法も無い一発勝負の時代です。遂にこれだと言う方法にたどり着きました。勝負の日胸躍らせてスタジオ入りしました。

ところが演奏がうまくゆかないのです。仕事が終わって、バンマスの宮間利之さんは一言「スイング出来なきやつまらない」だろう！と行って帰りました。ジャズのスタンダードナンバーのタイトルです。目からウロコそれ以来私のマイクアレンジは演奏しやすい事が第一に成りなした。

## キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは・・・・

「そう簡単にうまくいかないよ、次はもうちょっと良くしよう！」

## キーワードキーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は・・・・

東日本大震災、我々のボランティア活動の声かけに逸速く沢山の協力の手、大勢のいい顔に巡りあったこと、そしてこれがワイズなんだと実感したこと。

## キーワード4 《ズ》 ズー と大切にしている・・・・

ズー 良いバイオリンにはズーがあります、そばで耳を澄ますと本来の音の下にズーと言うような音がしています。近くではいい音とは感じません、しかしそのバイオリンは遠鳴り、遠くまでいい音色が響きます。

ズーのないバイオリンはそばではそれなりの音がしますが遠鳴りはしません。何かある毎によくそのことを思い出します。

もう一つ「自分以外に誰かになにかすることは自分の健康に良い」

## キーワード1 《30》 30才の時の私は.....

当時日本経済は正に右肩上がりの成長を続けており、毎晩9時、10時まで仕事をしてそれから上司、仲間と飲みに出かけると言う凡そボランティアとか地域奉仕と言う言葉とは縁のない生活をしていました。

## キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは.....

今、皆さんは学校の座学では得られない貴重な体験と勉強をされている。例えば西東京センターのリーダーの皆さんで言えば、単に無償のボランティアとして障害児の活動に携わることで終わるのではなく、そのことを通じて自分を磨き、成長していただきたい。また全人格的な教育を目指すYMCAの精神を理解していただきたいと思います。そして将来もYMCAあるいはワイズとのつながりを維持し、YMCAの貴重な財産を後輩にも引き継いでいただきたい。

それと色々な経験を積み、視野を広げること。私の場合は、外から日本を見ることにより人生観が変わった。チャンスがあれば積極的に海外にチャレンジして欲しい。短期旅行では得られないものが見えてくる。

## キーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は.....

クラブ会長であった2006年に東京武蔵野クラブと東京多摩クラブが合併し9月に行った新クラブ発足記念例会。例会には多くの方々に出席いただきましたが、お声掛けしたクラブOBの大先輩の中には、伝統ある武蔵野クラブが無くなるのは忍びないと出席を辞退される方もあり、その方達に報いるためにも新クラブを盛り上げなければとの思いを強くしたのです。

## キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしている.....

歳とともに人生観、価値観は少しずつ変化するもの。この歳になると、言いたい事を言いやりたい事をやれば良いと思っている。ただその中で今大切にしたいのは、何事にも興味を持ち追求しようと言う物事に対する好奇心を失わずにいること。これが、最大の老化防止策と思っている。

## キーワード1 《30》3 0才の時の私は・・・

武蔵野 YMCA のスタッフとして子どもたちとキャンプ活動、グループ活動など大変楽しい日々を過ごしていました。特にリーダーたちとのかかわりは強く、今も付き合っています。今思うと、一番元気に、生き生きと過ごしていた時間かもしれません。ちなみに武蔵野ワイズメンズクラブの担当主事でもありました。

## キーワード2 《ワ》 YMCA のリーダーたちに伝えたいことは・・・

リーダー活動から得られるものは無尽蔵。自分の生き方を決定付けるきっかけもあります。精一杯、誠実に楽しく活動しましょう。子どもたちは宝物をたくさん持っています。子どもから教えてもらうことがたくさん感じられるようになってください。感じましょう。

## キーワードキーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は・・・

多くのすばらしい人たちとの出会い。名刺ではなく、一人の人としてかかわりが持てること。また、話を聞いてもらえる場所であると思います。以前所属していた宇都宮東クラブで、夫婦で支えてもらったことは大変励みになりました。また、現在のクラブでは、ともかく大変楽しい時間をすごしています。

## キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしていることは・・・

人とのかかわりです。キャンプに連れて行っていた幼稚園年齢の子どもから、学生、最後は老人ホームまで、幅広い年齢の方とかかわりを持たせてもらいました。共通していることは、どんな人からも多くの大切なものを教えてもらえるということ。これからも続けて行きたいと思います。



## キーワード1 《30》 30才の時の私は.....

30才の時の私は、三菱信託銀行立川支店に勤務しておりました。当時の支店は国鉄立川駅北口約50メートル、背後に米軍立川基地（現在の昭和公園）がありしばしば基地の米軍家族がドルの両替に来店する立地でした。当時は1ドルが360円で海外旅行は高嶺の花、外貨の両替には大蔵省から両替商の認可を得ないと出来ない時代でした。また、東芝府中工場の近くで現金輸送車から3億円を強奪された事件の発生もこのころのことです。当時も、立川は中央線沿線の中心地のひとつではありましたが、このような変化は誰も予測すらしなかったのではと思います。

## キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは.....

YMCAのリーダーたちに伝えたいことは、とはいえ、すでにいろいろ学習、経験をつまれている皆さんなので余りありませんが、常に相手の立場に立って行動される場面が多いと思います。それは基本的に重要なことですが自分を客観視しながら物事を進めていくこともまた大切だと思います。

## キーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は.....

今までのワイズでの一番の思い出は、昨年8月、第70回 Y's 国際大会がノルウエーのスタヴァンゲルで行われ、とりわけ2日目の Home dinner は約80件のホストファミリーが7~8名のゲストを自宅に招いての歓談、音楽、食事でした。私たちのホストは石油会社退職のご主人とその夫人、子供たちは独立して近くに住み、家は大きくはないがゆったりとしたタウンハウスで典型的な中流家庭でした。ゲストはノルウエー人夫妻、ロシア人女性2名、バングラデッシュ男性2名と、私の7名で、人種、文化、歴史の違う人々との意見交換、歓談は楽しくかつ有意義な時間となりました。また、北欧諸国の豊かさ（精神的にも物質的にも）を改めて感じました。

## キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしている.....

ズーと大切にしていることは、自己責任でものごとを行うことを基本にしていることです。その上で夢を持ち常に好奇心を持って行動することです。

## キーワード1 《30》 30才の時の私は……

1970年に30才代に入りました。丁度日本の高度成長が最盛期に入る頃で日本中が「働け」「働け」の真最中でした。月200時間の残業は珍しくなく私にとって自分の時間が持てない時代であった事を憶えています。  
今になると充実はしていましたが、一寸残念な時代であったと感じています。

## キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは……

自主的に活動をしてほしい。何事もそうですが、参加して最初の頃はこの「グループは何を目指してその為は何をしているのか」を見定める時です。それを過ぎた後は「自分がその中でどの様な事を、どうやってやってゆけば良いか」を充分に考え、それに向かって活発に発言し、活動し、結果を見定めて下さい。結果は思った通りにならなくても、それが見えれば必ず将来に生きてくるのですから。

## キーワードキーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は……

私自身の事ではないのですが。私は小学生の頃、石川県の金沢で育ちました。その頃、スタートしたばかりの金沢YMCAでY'sがスタートしました。  
終戦後、数年しか経っていない時で、全く戦災が無かった金沢でY'sの地方区大会が、街外れの湯涌(ゆわく)温泉で開かれ100人以上のY'sのメンバー、メネットが集まりました。会長であった父が一生懸命動いていたのが印象に残っています。  
大会後、地方紙北国新聞に「酒を1滴も呑まないで100人以上の大人の男女が二日間も大騒ぎ(?)をして大会を盛り上げた」と驚きの記事が載っていたのを憶えています。

## キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしている……

[物作りが、文明発展の礎]  
小学校時代、工作で色んな物を作るのが好きだった私がナイフで“鉛筆”を削りながら「鉛筆って凄いナ、こんなものを考えて作り出した人が居るんだナ、こんな物を作り出す人になりたいナー」と思った事を覚えています。  
大学卒業時に就職の事を考えた時、この事が頭をよぎり、やっぱり「物造り」の社会へ行こうと考えました。でも、物を造る会社へ就職して、ほとんど「営業」「経理」「人事管理」他の仕事でしたが……。

## キーワード1 《30》 30才の時の私は・・・

会社では入社7年後で係長クラス、家庭では愛娘1歳の優しいパパ、貧しいながらも充実した日々であった。すべて右肩上がりの時代、働けば明日は必ず今日より良くなると信じられたからある。

この年(昭和38年)ケネディ大統領暗殺の悲劇があったが、翌年は東海道新幹線開業と東京オリンピックの開催に沸いた。所得倍増と日本列島改造による高度成長の後、一時の停滞があったが、再び土地神話に基づく急膨張に突入、やがてバブルがはじけ、"Japan as No.1"の夢は消えた。数年後に私は退職した。50年の歳月も、過ぎ去ってみれば短いものだ実感している。

現在、大学3年になる孫娘が就職活動に苦闘している。なぜ、こんな世の中になってしまったのか？ 経済的利益のために、ひたすら突っ走ってきた私達の世代の責任は重いようにも思う・・・

## キーワード2 《ワ》 YMCAのリーダーたちに伝えたいことは・・・

皆様のご活躍の様子は、“西日本YMCA通信”で拝見しています。善意と勇気に満ちた皆様の自発的な活動に、敬意と謝意を表します。あなた方がいてくれるから、“日本の将来は大丈夫”と安心です。

ご健康には十分に留意されて、ご活躍されるよう祈っております・・・

## キーワードキーワード3 《イ》 今までのワイズでの一番の思い出は・・・

2006年12月のファミリー・クリスマスです。私が石丸由理様(私のピアノの先生)のご紹介でワイズに入会を許されたのは2006年5月ですから、ファミリー・クリスマスも初めての参加でした。

文字通り、家族ぐるみ・老若男女の層の深い集会にちょっとびっくり、和気藹々としながらも聖夜にふさわしい清らかな雰囲気心が洗われました。

私は現在少し体調を崩しワイズマンクラブの方も欠席させていただいていますが、又ファミリー・クリスマスに参加できる日が来ることを楽しみにしております・・・

## キーワード4 《ズ》 ズーと大切にしている・・・

ズーと大切にしている言葉——サムエル・ウルマンの“青春”です。

“青春とは人生の或る期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ”

“歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に精神はしぼむ”

“人は信念、自信、希望と共に若く、疑惑、恐怖、失望と共に老いる”等々。

私はこの8年間に3回の割腹手術を受け、今年は80歳を迎えて、“老体”を一入痛感するようになったが、時々はこの言葉を読み直し、自分を元気づけています。

私たち武蔵野多摩クラブのメンバーは  
この言葉を大事にして  
私たちのクラブのできる事を考え、工夫して  
前に進んでいきたいと考えております  
これからもどうぞよろしくお願いいたします

東京武蔵野多摩クラブメンバー 一同



2013年5月8日撮影

2.

契約書





2013年5月25日発行

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

会長 山口直樹